

# Do!

2023.WINTER

1月号  
VOL.479

DOKKYO UNIVERSITY NEWS



02\_雄飛祭特集

07\_シリーズ獨協SDGs

08\_未来への羅針盤

10\_表紙撮影の裏側に密着



## 書道研究会



雄飛ホールでパフォーマンスを行なった書道研究会。音楽に合わせ、体全体を使いダイナミックに筆を走らせた。部員一丸となって、大きな半紙に力強く想いのこもった文字を書いていく姿は、見ている観客に勇気や感動を与えた。



## 茶華道部

茶華道部は、季節の花々を色彩豊かに組み合わせた生け花を展示した。また、見学に来た人に向けて、実際に華道を体験できる催しも行なった。自分の好きな枝や葉、花を選べ、生けた花は、自宅に持ち帰る事ができ好評だった。



## フラ愛好会 Mehana

フラ愛好会「Mehana」は雄飛ホールで、心が温くなるような、ゆったりとしたフラダンスを届けた。「癒しを届けたい」との言葉と共に、鮮やかな衣装と南国らしい音楽で丁寧で息の合った踊りを披露した。

## Singing Club

「Singing Club」はバンドステージにてライブを開催。ボーカルやコーラス以外にも、トランペットやサックスなど多彩な楽器を使って音色を奏でる姿は圧巻だった。Maroon5などのアーティストの曲を演奏し、演奏者・観客共にリズムに乗って盛り上がった。



## 編集後記

今年度の雄飛祭は事前予約制を利用し、対面での開催となりました。

昨年と比べ、模擬店やイベント数が増えたことで活気を感じることができ、充実した学園祭でした。

取材・写真撮影にご協力を頂いたみなさん、どうもありがとうございました！

学生記者一同



## バブルサッカー

バブルサッカーは、バブルボールを身に付けてお互いに押し合いながらサッカーをするスポーツ。グラウンドで行われたので、広くて開放的な空間の中、皆、仲間と共に楽しそうにプレーしていた。



11月4日(金)・5日(土)、58回  
爽やかな晴天に恵まれ、本学学  
来場者で活気あふ

# 雄飛

# Happy H

# 2022.11

11月4日(金)・5日(土)、58回  
爽やかな晴天に恵まれ、本学学  
来場者で活気あふ



**祭  
olidays!**

.4~11.5

目となる雄飛祭が開催された。生をはじめ、近隣の方々などのがれる2日間となった。

**学生記者取材  
特集**



## 開祭式

開祭式は、山路朝彦学長と佐藤孝則雄飛祭実行委員長の挨拶から始まり、アカペラサークル「Overlap」による今回の雄飛祭のテーマにふさわしいクリスマスソングの歌唱や、チアリーディング部による華やかなパフォーマンスで盛大な幕開けとなった。



## Overlap

アカペラサークル「Overlap」によるパフォーマンスが雄飛ホールにて行なわれた。今回の雄飛祭のテーマであるクリスマスや、ディズニー映画の曲などを披露し、美しい歌声とハーモニーで観客を魅了した。

## ダンスフリースタイル

2日間に渡って、雄飛ホールで公演を行なったダンスフリースタイル。J-POP、ラップ、ロック、洋楽、HIP-HOPなど多彩な楽曲を使用した幅広いジャンルのダンスを披露。様々な趣味・嗜好を持つ人が楽しめる内容となった。個性豊かなメンバーのダンスに、観客は終始魅了されていた。



## LANKA

フェアトレードサークルである「LANKA」では、食品パッケージでできたフェアトレード雑貨とチョコレートを販売。チョコレートは大人気で午後には完売。雑貨も使いやすく低価格であったため手に取りやすかった。



## Music Company WITH

「SUPER BEAVER」と「B'sバンド」の2組による演奏が行われ、2日目のバンドステージのオープニングを飾った。両バンドによりテンポの良い曲が3曲ずつ披露された。寒さを吹き飛ばす楽しい演奏で、メンバー多くの観客も盛り上がった。



## 令和4年秋の叙勲 寺野彰名誉理事長が旭日重光章を受章



11月3日、秋の叙勲受章者の発表があり、寺野彰獨協学園名誉理事長(81歳)が「旭日重光章」を受章した。今回の秋の叙勲受章者のうち旭日重光章受章者は全国で13名のみ。旭日重光章は、旭日章6つの中でも旭日大綬章に次ぐ高位である。

寺野先生は、理事長在任時、日本私立医科大学協会会長などを歴任し、約27年7ヵ月にわたり獨協学園の発展ならびに私学振興に寄与。昨年10月末に80歳で獨協医大を退職し、今年4月に、千葉県香取市にある医療法人香取おみがわ医療センター理事長に就任した。

## 本学法学部3年生が、外務省主催 「第38回国際問題プレゼンテーション・コンテスト」で 奨励賞受賞

11月5日、外務省主催「第38回国際問題プレゼンテーション・コンテスト」が都内で開催され、本学法学部の木村美祐さん(律3年)と秦茉優華さん(関3年)のチームが奨励賞を受賞した。

このコンテストは、設定されたテーマをもとに大学生が提言を行うもので、今回は、今年5月に広島市で行われる先進7カ国首脳会議(G7サミット)の目指すべき成果がテーマとなった。2人は「ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)の実現～ロシアのウクライナ侵攻によって分断された世界の再統合を目指して～」と題したプレゼンテーションを行い、明快な主張を誠実に訴えかける姿勢が高く評価された。



## 第10回経済学部 プレゼンテーション・コンテスト開催報告 ～大講堂で7グループが熱戦～



11月16日、経済学部は、「第10回経済学部プレゼンテーション・コンテスト」を、天野貞祐記念館大講堂にて開催した。このコンテストは、「学生の問題解決型プレゼンテーション能力の向上」、「研究活動・ゼミ活動の成果の紹介」などを目的に、2013年度に新設されたもの。7つのゼミから計21件の参加申し込みがあり、同学部学生支援制度実行委員会による書類審査を通過した7つのグループが本選に出場。米山昌幸ゼミの学生によるプレゼンテーションが最優秀賞に選出された。

## 長期留学終了者による 留学成果報告会を開催

10月26日、国際交流センター主催で長期留学終了者による留学成果報告会を開催した。本報告会は本学の国際化推進の一環として実施したもので、留学成果を可視化し、次のステップに向けての新たな気づきを得る機会を提供すること、また留学を考えている学生には海外体験について考えるきっかけを提供することを目的としている。

長期留学終了者は、2回にわたる事後研修への参加を通してまとめた留学の成果や自身の課題のほか、今後のキャリアプランを発表し、多くの学生にとって今後の可能性を広げる貴重な機会となった。



## 草加かがやき 特別支援学校による 手作りパンの販売を実施

10月14日と12月16日、中央棟東側出入口付近にて、草加かがやき特別支援学校高等部によるパン、クッキー、カップケーキの販売が行われた。商品は同校実習にて作られたもので、全品50円で販売された。

同校とは、2019年度に集団実習を受け入れたことをきっかけに交流が始まり、今回の販売は、本学学生と同校生徒との連携と交流促進を目的に企画したもの。購入した学生は「普段あまり接すことのない支援学校の活動を知ることもできる貴重な機会となった」とコメントした。多くの学生が購入し、大盛況となった。



## 第58回雄飛祭を開催

11月4日、5日の2日間、第58回雄飛祭を開催した。昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期し、事前予約制、人数制限を行い、両日とも8000名前後が来場した。今回のテーマは「Happy holidays!」。家族や友人などと一緒に「非日常」を楽しんで、一つの思い出として刻んでいただきたいという思いを込めた。

ゼミの研究発表やクラブ・サークルのステージパフォーマンスのほか、ジャーク等にこだわらず、魅力的な学生を選出する「グランツコンテスト」などが開催された。

(詳細は2~3ページの雄飛祭特集を参照)



## 2022年度「子ども大学そうか」 本学を会場に開催

10月15日、東棟で「子ども大学そうか」の今年度第4回目の授業が行われた。副学長である岡垣知子法学部教授が、「戦争はなくせるの?」と題した講義を担当し、対象の40名が受講した。

前半では、今日の国際社会の大きな問題である人口爆発、核兵器、貧困等の基礎事項について学んだ。後半では受講生を班分けし、戦争の原因や平和の可能性を班ごとに討議し、その結果を報告し合った。

「子ども大学そうか」は草加市と本学が共催する社会教育事業で、草加市内の小学5、6年生が計5回受講する。11月19日に今年度の全日程を終了した。



一足早い「学生」は熱心に受講した

## 第10回全国高校生英語 プレゼンテーション コンテストを開催

11月19日、外国語学部は、西棟207教室にて、「第10回全国高校生英語プレゼンテーションコンテスト」を開催した。今年は、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、2019年以来、3年ぶりに対面形式で実施した。

第1位の獨協大学学長賞には、山賀春奈さん(埼玉県・春日部女子高等学校)が選ばれた。

本選結果は大学ホームページを参照。



<https://www.dokkyo.ac.jp/information/2022/20221119005896.html>



## 第24回全国高校生ドイツ語 スピーチコンテストを開催

10月30日、外国語学部主催「第24回全国高校生ドイツ語スピーチコンテスト」を天野記念館大講堂にて開催した。

当日は、応募総数188名のうち、予選を勝ち抜いた21名(第1部朗読部門9名、第2部プレゼンテーション部門7名、第3部フリースピーチ部門5名)が本選の舞台に臨んだ。

審査の結果、第1位の最優秀賞には、第1部からは福本啓太さん(東京都・北園高等学校)が、第2部から佐藤怜雄さん(神奈川県・横浜国際高等学校)が、第3部からは高橋紗彩さん(埼玉県・伊奈学園総合高等学校)が選ばれた。



## 2022年度父母懇談会開催

10月22日、父母の会主催による父母懇談会が開催され、来校とオンライン合わせて407名の父母および保証人が参加した。全体会で山路朝彦学長(父母の会名誉会長)は、「コロナ禍での大学運営が続いているが、学内は落ち着きを取り戻しつつある。引き続き感染症の動向に注視しながら学生の皆さん安心して過ごせるキャンパスを維持していきたい」と述べた。翌週からは、父母懇談会の一環として、帝国データバンクによる就職に関する講演と、内定取得学生による就職活動経験談がオンデマンド配信された。



## 第33回獨協インターナショナル・ フォーラム開催

### 「新しい時代と生涯キャリア教育 —ドイツの「国家継続職業教育 戦略」から何を学べるか?—」

11月19日、産業・社会構造が変化する中、ドイツの事例を参考に、日本の公的継続職業教育の課題と今後の展望を考えることを目的として、ドイツと日本の研究者・政策立案者による講演や報告、参加者からの質疑応答を含めたパネルディスカッションを行った。コロナ禍以降、3年ぶりの対面形式(オンライン併用)によるフォーラムとなった。コーディネーターは、大重光太郎外国語学部ドイツ語学科教授。



## 「給水さん」が、獨協大学にやってきた



本学のSDGs推進活動の一環として、学内のペットボトル削減と学生生活をより快適に整えることを目的に、この度、学内に給水器を2ヵ所導入しました。

設置場所は、学生センター1階スタイルカフェ・スタンド北側と中央棟1階ATM横です。

学生や教職員の利用者からは「エコ活動にもなり、経済的にも助かる」という声が届いています。

なお、ペットボトルの削減量を可視化するため、給水器に積算流量計を設置し、給水された水量のモニタリングを行っています。

詳細はOasis Dokkyoチーム(高安ゼミ)協力により作成したリーフレットをご覧ください。

### 給水機の良いところ！(高安ゼミ作成のリーフレットより)

- お財布にやさしい！
- 無料で給水できます。
- 環境にやさしい！
- 年間約3kgのペットボトル廃棄を削減できます。
- ペットボトルの年間使用本数(試算)  
週3本×4週×12カ月=144本  
1本あたりの重量20グラム×144本=約3kg



**給水さん**が、  
**獨協大学**にやってきた！

おいしい水でオアシス気分！

設置場所は  
こちら！

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

獨協大学SDGs推進連絡会 作成：Oasis Dokkyo チーム（高安ゼミ）

### 『ジェンダーとセクシュアリティについてのハンドブック Ver.1』を発行

獨協大学ダイバーシティ推進連絡会(部会長・岡垣知子副学長)は、2022年12月、『ジェンダーとセクシュアリティについてのハンドブック Ver.1』を発行した。

2022年6月に設置のダイバーシティ推進連絡会は、当事者学生の支援ニーズと当事者以外の学生の意識を把握するため、全学生を対象に「LGBTQ学生を取り巻く現状とニーズ把握のためのアンケート調査」を7月に実施した。ハンドブックは、アンケート調査で得られた情報や要望を取り入れて編集し、学生生活情報やサポート体制、用語解説、参考図書等を掲載している。

学生センター1階・学生課前で配布中。大学HP、Porta II「ダウンロードセンター」にも掲載している。



### 2022年度学友会四本部合同交代式開催

12月14日、学生センター雄飛ホールにて、2022年度学友会四本部合同交代式が執り行われた。この式典は、2022年12月より新たに学友会各本部の正副委員長となる学生たちに、学友会会长(学長)が役職を委嘱する節目の行事。当日は、山路朝彦学友会会长をはじめとする大学教職員や学友会新役員の他、来賓として一般社団法人獨協大学同窓会から大西純一會長らが出席した。交代式では、学友会新役員に対し、山路会長から激励の言葉が送られた。第59期学友会委員長の[redacted]は「コロナ前に戻るのではなく、より一層キャンパスが賑わうように学友会を通して取り組んでまいります」と意気込みを語った。

#### 学友会 新役員一覧

任期: 2022年12月1日から2023年11月30日まで

##### 第59期 学友会



委員長

(律2年)

##### 第59期 文化会



委員長

(済2年)

##### 第59期 体育会



委員長

(独2年)

##### 第49期 愛好会



委員長

(營2年)

##### 第59期 監査団



団長

(營1年)

## 大学からのお知らせ

### 第56回卒業式、第45回学位記授与式

学部を指定して2部制で挙行します。卒業生1名につき父母・保証人等2名まで式典参加が可能です。

実施日:2023年3月20日(月)

場 所:獨協大学35周年記念館アリーナ

第1部 10:00~11:30 外国語学部、法学部

第2部 13:30~15:00 国際教養学部、経済学部、大学院

※新型コロナウィルスの感染拡大等により、内容変更が生じた場合は、ホームページ及びPorTaIIで案内します。

※学内で着物レンタル希望の場合は、獨協大学同窓会(TEL: 048-941-6865)までお問合せください。

### 2022年度秋学期「学生による授業評価アンケート」、「学生による教育環境改善のためのアンケート」に

ご協力ください

実施期間:2022年12月20日(火)~2023年1月24日(火)

対 象:全学生

回答方法:PorTaII→「履修」タブ→「授業評価(教育環境改善)アンケート回答・参照」から回答

所要時間:約30分

問い合わせ先:自己点検・評価室(6棟1階)

☎ 048-946-1824 または 048-951-2666

✉ jikotenken@stf.dokkyo.ac.jp

### 2023年度 学費について

<口座振替の方>

入学年度	2019年度以降	2018年度以前
春学期	口座振替日 手続き切※	4月12日 —
秋学期	口座振替日 手続き切	9月12日 8月20日
		9月10日 —

口座振替日が金融機関休業日の場合は、翌営業日が振替日となります。

※下の■学費「Web口座振替受付サービス」のご案内をご覧ください。

<銀行振込の方>

	春学期	秋学期
振込用紙の発送	4月初旬	9月初旬
納入期限	4月30日	9月30日

※修学支援新制度対象者の学費納入方法については大学ホームページをご参照ください。

#### ■学費「Web口座振替受付サービス」のご案内

このサービスは、ご自宅のパソコン等を使って、学費の納入方法を<銀行振込>から<口座振替>に変更するものです。これにより、銀行での振込の手間と手数料がなくなります。是非、この機会にご検討ください。

#### 【Web口座振替受付サービスの概要】

- ・Web画面によるオンライン手続(銀行届出印不要)
- ・口座振替日:春学期4月12日、秋学期9月12日 <Web口座振替受付>
- ・3月20日までにお手続きいただければ春学期の 学費から口座振替となります。
- ・手数料は大学負担となります。



## 読書人力レッジを開催

10月5日、本学では初となる「読書人力レッジ」を開催した。「読書人力レッジ」とは、学生の読書文化を育むことを目的として、株式会社読書人と公益財団法人日本財団が共同で始めた企画講演。今回は、ジャーナリストの増田ユリヤ氏にご講演いただいた。

増田氏は、取材先で出会った人々とのエピソードを交えながら、世界各地の移民問題を中心に昨今の国際情勢について解説。歴史や文化を深く理解し、広い視野をもって世界を見つめるこの重要性を説かれた。



## 蛯原アナ×並木選手 OB対談

### 「プロの世界で感じていること、今より一つ上の自分を目指すコツ」

12月16日、東京ヤクルトスワローズ 並木秀尊選手(21年済卒)が本学を訪れ、山路朝彦学長への表敬訪問の後、雄飛ホールにて、共に硬式野球部OBである日本テレビアナウンサー蛯原哲氏(97年律卒)と対談を行った。事前予約制で約120名の在学生が集まった。イベントの最後にはプレゼントbingo大会が行われ、当選者にお二人からサイン入りグッズなどが渡された。



## 第37回獨協大学高校生親善剣道大会を開催

11月23日、本学35周年記念館アリーナにて、第37回獨協大学高校生親善剣道大会を開催した。

40年前に始まった歴史のある大会で、新型コロナウィルス感染症の影響で3年ぶりの開催となり、首都圏から36校が参加した。コロナ禍の影響により、公式戦以外の大会がなくなり、高校生剣士にとっては日頃の稽古の成果を確かめられる貴重な機会になったとの好意的な評価をいただいた。今回は、コロナ対策を徹底するために、午前中に男子団体、午後に女子団体を行い、密状態を避ける工夫を施した。



- 優勝校(男子団体):城北埼玉高校
- 優勝校(女子団体):星野高校(埼玉県)

# 第50回学生懸賞論文審査結果

2022年度の第50回学生懸賞論文には、8編の応募がありました。  
審査委員会での協議の結果、優秀賞1編、審査員奨励賞1編が選定されました。

## ■ 最優秀賞 該当なし

## ■ 優秀賞 1編

双葉町の再生まちづくりに必要な交流の場・コミュニティの創出

経済学部経営学科2年

## ■ 審査員奨励賞 1編

石巻市における災害復興公営住宅のあり方～神戸市の取り組みと比較して～

経済学部国際環境経済学科2年



## 審査講評

まず、応募した皆さんに審査委員一同、敬意と感謝を表したく思います。大学の内外での日々の活動に忙しいなか、授業やゼミでの学習をきっかけに自分なりの問題意識を持ち、そこから調査と考察を進めて論文の形にまとめようとする意思を高く評価します。将来をなかなか見通し難い現代社会において、そのように旺盛な学習意欲は、きっと自分なりの生き方を切り拓いてゆく援けとなるはずです。結果の如何にかかわらず、その意欲をぜひこれからも持ち続けてください。

さて、2022年度の第50回学生懸賞論文には、4つのテーマに対して8編の応募(いずれも「SDGsの実現に向けて」についての論文)がありました。昨年度の20編、一昨年度の35編と比べて数は少なかったものの、すべての論文で自分なりの問題設定がなされており、また他でもない自分の言葉による論述が展開されていたことは、特筆に値します。ここ数年の懸案事項であった剽窃の問題、すなわち他人の議論や自治体のウェブページなどから文言をそのまま取り込むような杜撰な論文作成は、今回の審査ではまったく見当たりませんでした。あるいはこのような至極当然のことを特筆しなくてはならないこと自体に、大学をはじめとする現代の知的社会をとり巻く状況を反映しているように思われますが、今回応募された皆さんはその好ましくない状況に取り込まれていないそのことをとても頼もしいと思います。

このような意欲的な応募論文に対して、まず第1次審査として各審査委員が4編ずつの査読(1つの論文が2人の委員によって読まれることになります)を行い、そこで推薦された論文を対象として委員全員による第2次審査を行いました。事前に発表されていた「応募上の注意」が守られていることを前提に、論文の形式と内容との両面について議論が交わされ、厳正な審査の結果、最優秀賞0編、優秀賞1編、審査員奨励賞1編を選ばれました。

全体的な傾向として、次の2点を指摘できるかと思います。(1)論文の着想や問題意識は独創的で面白いもの多かったこと。(2)その一方で、論文の形式や論述の進め方については改善の余地が大きいものが多くなったこと。興味深い論点が提示されているものの、それが客観的なデータや妥当な考察に支えられていないければ、読み手を納得させる議論

にはなりません。そこに不満が残る論文が目立ちました。

そのなかで優秀賞に選定された「双葉町の再生まちづくりに必要な交流の場・コミュニティの創出」については、自身の体験に根ざした問題設定の独自性、現地調査の充実度合い、図表やデータの効果的な活用、論理的かつ具体的な論述ができる点が、審査委員から高く評価されました。その一方で、論述を支えるデータが自治体のウェブページにある情報に偏っているという指摘や、考察の深さがもう少し欲しいといった指摘もあり、残念ながら最優秀賞には届きませんでした。これから研鑽に期待しています。

審査員奨励賞の「石巻市における災害復興公営住宅のあり方～神戸市の取り組みと比較して～」も、論文としての全体的な的確性という点では、上記論文に劣らないほど高い評価を受けました。しかし本論文の議論にとって肝心な、比較対象としての神戸市の取り組みの考察部分を十分に上げることができていない点、それと関連して議論の掘り下げが不足している点などに改善の余地が大きく、これから向上を期待しながら、審査員奨励賞ということで決着しました。

このように講評をまとめるに、どうしても厳しい指摘もしなくてはなりません。しかし受賞に至らなかった応募者も含めて、皆さんにはまだ、論文やレポートの書き方を学んでいる途中の段階にいます。自身の欠点を自覚することは、それを克服すればよりよい論文の書き手になれるということ意味しますから、今回の挑戦を糧にして、ぜひこれから成長につなげていってください。今後の研鑽を心から期待するとともに、次年度もぜひ懸賞論文にチャレンジしていただきたいと願います。

## 第50回学生懸賞論文審査委員

委員長 堀川 宏(国際教養学部専任講師)

委員 D.藤澤(外国语学部専任講師)～2022年9月23日

委員 黒子 葉子(外国语学部准教授) 2022年9月24日～

委員 全載旭(経済学部教授)

委員 藤田 貴宏(法学部教授)

## ● 優秀賞 双葉町の再生まちづくりに必要な交流の場・コミュニティの創出



経営学科2年

東日本大地震から11年以上経った昨年(2022年)8月30日に漸く避難指示が解除されて町内に役場の機能が戻り、もう一度人が住めるようになった町、福島県双葉町。地震・津波・原子力発電所の事故という様々な被害に遭い、全町避難を余儀なくされた。被害によって、復興への足止めを食らい、長い年月にわたって住民ゼロだった双葉町にとって重要な年である。双葉町出身である筆者

は震災後に何度も足を運んでいたが、昨年9月には隣町も含めた現地調査を行なった。新しい建物と崩れたままの建物があり、復興はこれからである。

本稿では双葉町の現状や隣接する町の取り組みについて触れて、復興まちづくりに対する課題をいくつか洗い出した。その中でもコミュニティや町に残る校舎に着目し、復興まちづくりにおける今後の在り方について述べた。

## ● 審査員奨励賞 石巻市における災害復興公営住宅のあり方～神戸市の取り組みと比較して～



国際環境経済学科2年

2011(平成23)年3月11日金曜日、14時46分に発生した東日本大震災により宮城県石巻市は甚大な被害を受けた。震災から約11年が経ち、2022(令和4)年3月11日の河北新報で斎藤正美石巻市長は「住まいの再建を優先的に進めた。」「復興事業の9割が完成していて、あと一歩である。」と述べている。しかし、設備等の立て直しは復興完結に近づいているかもしれないが、人と人とのつながり、コミュニティというものが疎かになっている。市は「石巻市震災復興

基本計画」に従い、住居復興・災害復興公営住宅の導入に力を入れた。しかし、災害復興公営住宅の仕組みには、入居方式や金銭的問題などからコミュニティ形成を欠く原因がいくつもあげられた。これは1995(平成7)年1月17日に発生した阪神・淡路大震災による被害を受けた神戸市でも同様の課題が上げられていた。本稿では、根本的な原因の災害復興公営住宅の抽選方式のしくみを改正し、「被災者のニーズにあわせる」という点の重要性を指摘する。

## ラジオDJ／ナレーター サッシャさん(99年独卒)

ドイツ・フランクフルト出身、小学校4年生の時に日本に移住。本学卒業後、音楽専門チャンネルでのVJを経て、J-WAVE「STEP ONE」ナビゲーター、日本テレビ系「金曜ロードショー」ナビゲーター、スポーツチャンネルのJSPORTS、DAZNの実況などを担当。そのほかナレーション、MCなど幅広く活躍している。

◆お仕事をするうえで、大切にされていることはなんですか。  
入念に準備しておくことです。ラジオ番組ではゲストの方の曲を聞いたり、情報を仕入れたりすることで、自信を持って臨めるようにしています。

◆現在とこれまでのお仕事について、教えてください。  
喋ること全般が仕事です。主はラジオDJですが、スポーツ実況、ナレーション、テレビのMCなども。具体的には、日本テレビ系「金曜ロードショー」やJ-WAVEのラジオ番組「STEP ONE」のナビゲーター、スポーツチャンネル、DAZNやJSPORTSで実況などをさせていただいています。



各業界でトップランナーとして活躍する先輩に、学生記者がインタビュー。今回は、ラジオDJや映画番組のナビゲーター、スポーツチャンネルでの実況など、マルチにご活躍されているサッシャさん。DAZNのF1番組の収録後にお話を伺いました。



◆今のお仕事を選ばれたきっかけについて教えてください。  
元々、大学卒業後は出身地であるドイツの大学に進学するつもりでした。向こうで経営学を学んで、日本との橋渡しができる仕事に就きたかったのです。しかしドイツで大学に行くには、当時、小学校から13年間の教育を受ける必要があったので、12年制である日本の高校を卒業しても大学には進めませんでした。そこで、ドイツの大学への学士入学に備える意味でも、改めてきちんとドイツ語を学ぼうと獨協大学に入学したのです。

◆学生時代にやっておいたほうが良いことはなんですか。  
大学生の時期こそ、見聞や視野を広げるために自己投資をした方が良いと思います。これは私自身の反省なのですが、当時は時間の使い方も下手でしたし、バイトで稼いだお金も使わずに貯金しているタイプでした。趣味や旅行など、大人になればできると思っていたんです。

しかし、社会人になれば忙しくなり、家族を持つてば自分のためだけに使える時間やお金は本当に限られます。学生のうちには、時間もお金も何気ない仕事に直接かかわらなくても、何かにつながることは…と、当時の自分に伝えたいですね。

“喋る仕事”だったのです。私の場合、求人に応募して採用してもらう、いわゆる「就職活動」だけが就職活動ではないと感じていました。自分から探し出された仕事が、当時から性に合っていると感じていたことも大きかったかもしれません。

そこでラジオ局へ問い合わせたり、オーディションを受けたりしました。最終的には、当時の音楽専門チャンネルでデビューましたが、2年後にそのチャンネルが終了。今度こそドイツの大学へと思いましたが、J-WAVEから声をかけていただき、仕事を続けて今に至っています。結局ドイツの大学への学士入学は20年以上ベンディングですね(笑)。

### メッセージ～学生の皆さんへ～

- ① 就活だけが道ではない、違和感があるなら別の生き方を探すのも方法の一つ。
- ② 学生のうちこそ時間とお金を惜しまず、未来への自己投資と挑戦につき込もう。

学生記者



### (法律学科4年)

学生時代には、積極的に自己投資した方が良いというお話を印象に残りました。残りわずかな学生生活ではありますが、悔いを残さないように今しかできないことに挑戦していきたいと思いました。



### (英語学科1年)

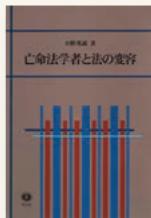
同じ大学で学んでいたことを実感でき、とても充実した時間でした。お話を聞いて、学生の間に様々なことを体験してみようと思いました。

# 本箱

## 本学の先生方が 執筆された新刊情報

小野 秀誠(法律学科教授)著  
『亡命法学者と法の変容』

信山社 2022年8月 14545円



ナチスによる反ユダヤ主義で多くの法学者が欧米等に亡命。この状況のなかでユダヤ系法学者が欧米の大学で研究・指導にかかわり多くの貢献をしました。本書では、ユダヤ系法学者と女性等少數者の活動を詳論しています。

加藤一彦(国際関係法学科非常勤講師)著  
『非常時法の憲法作用  
国家緊急権の削除可能性』

敬文堂 2022年9月 3500円



国家緊急権の魔性の力に對峙する戦後憲法学を継承した著者による論考です。緊急事態条項導入論議を整理し、日本国憲法における非常時法のあり方を問う、国会議員関係者必読の書となっています。

藤山 英樹(国際環境経済学科教授)分担執筆

『数理社会学事典』

丸善出版 2022年8月 22000円



数学的論理を用いて社会現象を記述し説明する数理社会学では、社会における様々なことが幅広く対象となります。ビッグデータやAIなどとの連携の期待も高まる21世紀において、データサイエンスの一翼を担う本分野の必携の事典です。

明田川 智士(言語文化学科専任講師)訳(劉梓潔 著)  
『愛しいあなた』

書肆侃侃房 2022年10月 1900円



子供が欲しい。それってホルモンのせい?...「愛しいあなた」。母親には永遠にわからないだろう。年下の彼氏への思い...「プレゼント」。父の秘密と私の恋...「失明」など。台湾女性の愛と痛みを描いた短編小説集10編です。

朴鍾厚(言語文化学科特任准教授)著  
『コツコツ覚えよう  
初級韓国語学習用語彙2000』

博英社 2022年10月 1800円



本書は初級レベルの韓国語学習者のために構成された2000語の語彙集です。初級レベルの単語だけではなく、カテゴリー別リストや練習問題を載せており、語彙習得の手助けになるよう様々な工夫をしています。

矢羽々 崇(ドイツ語学科教授)著  
『日本の「第九」  
合唱が社会を変える』

白水社 2022年11月 2800円



「第九」がいかにして日本に受け入れられ、市民参加型の合唱として定着したのか。「第九」上演関係者の言葉をたどりながら、自分たちで新しいものを生み出そうという希望と熱気に満ちた若々しき日本の姿を描き出します。

獨協大学ニュース「本箱」欄に  
掲載する新刊情報をお寄せください。

本学教職員(非常勤講師含む)が執筆した単著・共著・分担執筆・監修・翻訳書などの新刊情報を募集しています。

なお、価格は税抜表記としております。新刊がありましたら、中央棟2階総合企画課までご持参ください。

表紙撮影後、返却いたします。



@dokkyolibrary

## ぶらりらいぶらり Vol. 105 図書館の就職活動応援



図書館では、皆さんの学修や、就職活動をサポートします。図書館を活用し、自己分析や面接対策、業界・企業研究を効率的に進めましょう。

### 図書

就職活動関連資料コーナーがおすすめです。

2階出入口近くの2番書架には、就職活動の心得や準備、エントリーシートや面接などの対策、各業界ガイドなど役立つ資料が並んでいます。

データベースや電子ブックは、VPN接続の設定を1度するだけで、  
自宅やスマートフォンからアクセスできて便利。

### データベース

図書館ホームページ > 図書・資料を探す > データベース一覧

①新聞 ②企業情報

『日経テレコン21』(日経新聞) 『東洋経済DCL』(『会社四季報』『就職四季報』)  
『毎索』(毎日新聞) 『eol企業情報データベース』(有価証券報告書)

③記事 『日経BP』(『日経ビジネス』)

### 電子ブック

・Maruzen eBook Library

図書・資料を探す > オンラインブック > タイトルリスト > 就職活動に役立つ電子書籍・動画(PDF)

### 雑誌

ビジネス雑誌(『週刊東洋経済』『週刊ダイヤモンド』『日経ビジネス』『TIME』)や業界ごとの専門誌などがあります。

●さらに詳しい情報はこちら → (資料)企業情報の探し方



図書館ホームページ >  
図書・資料を探す >  
テーマ別資料の探し方 >  
企業情報の探し方

レファレンスカウンター近くのパンフレットホルダーにも印刷したものがあります。

●資料の探し方のご質問やご相談はレファレンスカウンターで承ります。

# 学生記者が行く



表紙撮影の裏側に密着

普段見ることのできない、表紙撮影の裏側に  
学生記者が密着しました。

## 01 スタッフと顔合わせ



獨協大学ニュースの制作会社の方と今回撮影を担当してくださったカメラマンと顔合わせ。

## 02 制作会社の方々と打ち合わせ



今回どのような表紙を撮影するか、撮影の流れを制作会社の方々と打ち合わせ。

## 03 今回のモデルへ表紙の事前説明



今回表紙撮影にご協力いただく学生と、どのようなコンセプトで進めるかイメージをすり合わせていきます。

## 05 撮影した写真をPCでチェック



実際に撮影した画像をパソコンで確認。  
何十枚と撮影し、厳選していきます。

## 04 表紙撮影開始



いざ撮影開始!  
場所を移動しながら何パターンも撮影していきます。



細かい表情やしぐさをカメラマンと一緒に確認していきます。

## 表紙完成!

ついに完成! 様々な方々の協力を得て表紙が完成します。獨協大学ニュースは年4回、学内の様々な情報を届けています。

### 【学生記者コメント】

実際の撮影現場を見学したのは初めてだったので、表紙1枚のために沢山の人が関わり長時間かけて撮影していることに驚きました。

英語学科2年

学生が記事制作にかかる機会は多くないので、制作の裏側を知ることができ、貴重な体験になりました。

英語学科2年



### WANTED!

『Do! 獨協大学ニュース』の学生記者に興味のある方は、総合企画課までお越しください。  
お問い合わせ: 中央棟2階 総合企画課

# Cover Story

外国語学部交流文化学科3年

『Do! 獨協大学ニュース』1月号の表紙を飾ってくれたのは、ボランティアサークル「WAP」や入試課の学生スタッフなど多方面で活躍中の\_\_\_\_\_さんです。子どもが好きで、子どもたちと触れ合いたいという思いから現在のサークルへの所属を決めたそうです。子ども食堂や学修支援などの活動を主に行っていて、子ども食堂では、食堂に来る子どもたちや親御さんの食事の準備、配膳。学修支援では、外国の子どもたちに日本語学習や学校の宿題、授業の予習などのお手伝いをしています。今行っている活動が世の中でどのような形で役に立っているのか知ることができた時、やりがいを感じるそうです。「今後は、語学の勉強にさらに力を入れて、グローバルに活躍できるようになることが目標なので、残りの大学生活で様々なことに挑戦し、自分の視野を広げていきたい」と語ってくれました。



Photo by Satoshi Inokuchi

## 「獨協大学学生サポート寄付金」ご協力のお願い

12月1日より、獨協大学学生サポート寄付金募集がスタートいたします。本事業は、「よりよい社会の構築に貢献する人材」を育成すべく、国際化推進、地域連携・地域貢献、学友会活動、自律学習など、学生の活動全般を広く永続的に支援することを主眼としています。皆様のご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

詳細はホームページをご覧ください。



## 獨協大学前〈草加松原〉駅ホームドア使用開始

12月18日より、東武スカイツリーライン獨協大学前〈草加松原〉駅にてホームドアの使用が開始されました。安全性向上やバリアフリー化を目的に、草加市内4駅のホームドアの設置を国土交通省・埼玉県・草加市・東武鉄道が協力して進めています。



## 読者アンケートにご協力ください

獨協大学ニュースでは、学生や保証人の方々が必要な情報、読みたいコンテンツを発信していくたいと考えています。今後の企画や掲載内容の参考にさせていただきますので、ぜひ読者アンケートにご協力ください。



編 集 総合企画部(中央棟2階) TEL048-946-1635 kouhou@stf.dokkyo.ac.jp

学 生 記 者	秋元 壮馬(営2年)	跡部 雄大郎(総3年)	池下 奈穂ヴェレーナ(独3年)	伊藤 あす美(関4年)
[ 五 十 音 順 ]	遠藤 夏乃(済4年)	大久保 賢斗(営1年)	岡田 陽依(英2年)	尾木 草輔(律3年)
	金子 愛美(英1年)	斎藤 翔斗(律2年)	佐藤 雪絵(仏1年)	杉田 慶一郎(律4年)
	鈴木 紗夏(英4年)	高橋 弘行(済4年)	田中 風羽(英1年)	程帆(律2年)
	長橋 すず音(音3年)	原 友里恵(英2年)	藤崎 ゆな(営2年)	古谷 一真(交2年)
	堀口 太陽(英4年)	吉見 麻菜(済3年)	渡邊 帆風(営1年)	

略称表記(学科)	独…ドイツ語 英…英語 仏…フランス語 交…交流文化 言…言語文化 済…経済 管…経営 環…国際環境経済 律…法律 関…国際関係法 総…総合政策
----------	--

 獨協大学  
DOKKYO UNIVERSITY

<https://www.dokkyo.ac.jp/>